



寒さの中にも春の訪れを感じる今日この頃です。学校の桜の木をよく見ると、芽が出始めて、花を咲かせる準備をしています。一年間のまとめとなるこの時期ですが、一日一日を大切にして、クラスの友達や先生と多くの思い出をつくってほしいと思います。

たてわり活動、委員会やクラブ活動など多くの活動の中で、いつもリーダーとして活躍していた6年生13名が卒業を迎えます。各学年が、6年生への感謝の気持ちや卒業をお祝いする気持ちを伝えようと準備を進めています。6年生には、それらの思いをしっかりと受けとめ自信をもって押水第一小学校を巣立って行ってほしいと思います。6年生は、様々な活動の中で、自分たちの姿が押水第一小学校の姿であるという気持ちを持ち、下級生の道しるべとして素敵な姿をたくさん見せました。この姿勢は、5年生にしっかりと受け継がれ押水第一小学校の伝統として根付いていくことと思います。

そのバトンを受け継ぐ5年生は、多くのことに挑戦した一年間でした。特に3学期は、学校全体の動きを見ながら学校をリードすることに挑戦し、6年生を送る会の運営は見事にやりきりました。4月からは、名実ともに最高学年として押水第一小学校をリードしていってくれるものと期待しています。

その他の学年も、この一年、学年のスローガンやクラス目標に向かって、心を一つにして進んできました。その振り返りを行いながら、次の学年に向けて準備をしています。3月は是非、ご家庭でも卒業や進級を前にして一年間を振り返り、お子様の成長を一緒に喜んでいただけたらと思います。子どもたちの成長には、一人ひとりの頑張りや努力が、そして、それを支えてくださったたくさんの人の励ましがあつたことと思います。子どもたちの成長の中にある姿をしっかりと受け止めたいと思います。

令和3年度の教育活動には、コロナ禍にも関わらず、保護者の皆様、地域の皆様にご支援ご協力をいただきましたことに心より感謝申し上げます。このような状況であるにも関わらず、子どもたちにはできる限りの取り組みを行うことができました。ありがとうございました。新年度も子どもたち一人ひとりが安心して学ぶことができ、子どもたちの笑顔があふれる押水第一小学校をめざしていきたいと思ひます。

私事になりますが、この3月で定年退職となります。教員生活の締めくくりとして大変有意義な時間を、押水第一小学校の子どもたちと、保護者の皆さんと、地域の皆さんとで共有させていただきました。心から感謝申し上げます。最後に、皆様方一人一人の今後に幸多からんことを祈りまして、校長室だより最終号を終了させていただきます。ありがとうございました。